

①セクシュアリティとは何か

ジェンダーとセックスでは性に関する言葉がたりなくなったために生み出された新しい言葉。もともとジェンダーという言葉はセックスの上位に置き、社会的性は生物学的性のあとに、後天的に獲得されるものであり、人によって先天的性と後天的性に差があることもありうるという説明がされていたが、バトラーの論によりジェンダーという言葉の優位性(?)が失われたことが理由。

ジェンダーアイデンティティ、バイオロジカルセックス、ジェンダーロール、セクシュアルオリエンテーションなど、〈性に関わる欲望と観念の集合〉を指す。

②セックスとジェンダーは対立ではないといえるのはなぜか

“セックス”そのものがジェンダー化されたカテゴリー。両者は、例えばジェンダーという大きな枠があったとすると、そのなかにセックスが含まれるという形をとるため、対立項のように区別して考えることができない。

③カルチュラルスタディーズとは何か

カルチュラルスタディーズとは、一般的に「文化」とされているものを批判的に見直すことを目的にしている。固定的に見られる「文化」も、必ず何らかの理由で変化をしていると考え、何が理由で「文化」は変化しているのかを探る。イギリスの階級闘争から発展したため、発祥は「文化」における階級転覆の試み。

「私たちの日常生活を成り立たせているさまざまな力学の結果であると同時に、それを成り立たせているものに対する私たち自身の日常的な取り組み」(本橋、聞き取り引用)

④なぜこの作品が「カルチュラルスタディーズ」の論文に掲載されているのか

変化していないように見える文化とは、たとえば日中戦争時におけるセクシュアリティ、伝統的文化とされる京劇、京劇とセクシュアリティなどが挙げられる。変化のないように見える京劇という伝統芸の世界で、近代一般の性関係とは異なるセクシュアリティをもつ人物を描いていたことなどは、カルチュラルスタディーズの入門として有効だったのではないか。

⑤表象作品を分析する理由とは何か

表象が虚構であるとしても、歴史と同様に分析価値がある。虚構内に映し出される社会

は、当時の社会の影響を多分に受けるものであるうえ、虚構が社会に影響を与えることもある。また、歴史とされているもの自体、執筆者、伝達者の解釈が含まれるものであり、表象作品と何ら変わらない構図をとっている。

表象がもたらす現実＝表象が現れた瞬間、その過去は影響を与えられる。また、その影響が与えられたものがまた現実になる。

⑥”象徴”とは何か

つみのこし